



様式（第5条関係）

会 議 録

会 議 の 名 称	令和元年度第2回行田市郷土博物館協議会	
開 催 日 時	令和2年3月4日（水） 開会：午前10時00分 ・ 閉会：午前11時00分	
開 催 場 所	郷土博物館2階 会議室	
出席者（委員） 氏 名	鈴木征子 重田正夫 稲葉準一 大山能則 板垣時夫 堀秀雄	
欠席者（委員） 氏 名	柿沼耕一 篠田豊和 大澤恵子 若松良一	
事 務 局	館長 鈴木紀三雄 主査 浅見貴子 主任 岡村恵美子 主事 澤村怜薫 岡本夏実	
会 議 内 容	令和元年度下半期事業報告 令和2年度事業計画 その他	
会 議 資 料	令和元年度第2回行田市郷土博物館協議会次第 令和元年度第2回行田市郷土博物館協議会資料	
そ の 他 必 要 事 項	傍聴人なし	
会 確 議 録 の 定	確 定 年 月 日	主 宰 者 記 名 押 印
	令和 年 月 日	<div style="text-align: right;">   </div>

発 言 者	会 議 の 経 過 (議題・発言内容・結論等)
	<ul style="list-style-type: none"> * 市民憲章唱和 * 館長あいさつ * 会長あいさつ
事務局 (浅見)	<p>議 事</p> <p>それではこれより議事に入る。進行は会長にお願いする。</p>
鈴木会長	<p>議事に入る前に、本日の協議会については公開をお願いしている。公開について異存はないか。</p>
委 員	<p>公開としてよい。 (傍聴人なし)</p>
鈴木会長	<p>また本日の議事については議事録を作成する予定である。議事録の最後に確認の署名を2名の方から頂戴したい。この場でどなたかをお願いしたいが、事務局より提案はあるか。</p>
事務局 (浅見)	<p>それでは、名簿の順番で重田委員、稲葉委員をお願いしたい。</p>
鈴木会長	<p>それでは、そのようにお願いする。 では、次第に従って議事に入る。 始めに(1)の令和元年度下半期事業報告について事務局より説明をお願いする。</p> <p>(事務局より、管理部門 資料を説明) (事務局より、学芸部門 資料を説明)</p>
鈴木会長	<p>ただいま事務局より説明があったが、どなたかご質問等があったらお願いします。</p>
重田委員	<p>企画展については実際拝見させていただき大変参考になった。学芸の資料についても充実した収集がされているのがわかった。</p>

	<p>館が持った資料は基本的にリストを作って市民の方が利用できるようにしておくことが大切だと思うので、そのような手立ても徐々に作っていただけたらいいと思う。博物館はどちらかという学芸員が料理したものを展示して観ていただくという形になってしまうが、これからは皆さんが自分の力で勉強していく形も出てくると思うのでそういった事にも対処できるようなリストを公開していくという姿勢が必要と思う。</p>
鈴木会長	<p>貴重なご意見ありがとうございます。館の方でもよろしく願います。他にどなたかご質問はあるか。</p> <p>(1) の令和元年度下半期事業報告については終了する。次に (2) の令和2年度事業計画について事務局より願います。 (事務局より、資料の説明)</p>
鈴木会長	<p>事務局より説明があったが、ご質問ご意見があったら願います。</p>
板垣委員	<p>重要有形民俗文化財「行田の足袋製造用具及び関係資料」ということで指定になった。行田市では日本遺産の関係でも足袋がメインとなっていると思うが、今回指定されたものと日本遺産との関連で、博物館の関わりは何か考えられるか。</p>
事務局 (館長)	<p>日本遺産について、補助事業が今年度で終わり来年度どうするか今の時点では未定である。2月13日が日本遺産の日となり、国でも来年度の指定が100件となり日本遺産の認定は終了になる。行田市は足袋が日本遺産のメインになるので今後この指定文化財とどうからめていくか検討課題となる。</p> <p>指定になると5,484点は博物館からの持ち出しができなくなるが、他に指定になっていない同種の資料があるので活用し、普及事業や展覧会など行っていく。</p> <p>指定になる前「行田の足袋製造用具及び製品」ということで国の登録有形民俗文化財になっており、日本遺産の構成文化財にも含まれている。構成文化財の変更は年1回になるので、来年度に名称等を変更することになる。</p>

鈴木会長	他にいかがか。
大山委員	博学連携で、指導要領の見直しにより内容が変わるといのが「むかしのくらし」から「行田市のうつりかわり」に変わるのか。
事務局 (浅見)	今までは昔の生活の様子や暮らしに使っていた生活用品がメインで学習していたが、次年度から子供たちの学習内容がどちらかというと自分たちの暮らしている町がどのように発展していったか、人口や道路、ガスや水道などのインフラ整備などがどのように進んだかといったような市の移り変わりにメインがきて、暮らしの生活用具、炭火アイロンや電気を使わない道具などは学習時間が大幅に短縮されてしまうという変化があるので、展示の内容についても暮らしの道具についても少しは出すが種類を絞るような形になり、その代わり行田市の昭和から現在に至るまでの変化を写真やパネルなどを活用し展示していく。具体的には市町村合併や鉄道の駅が出来たときの資料を展示していくような形になると思う。時代も変わり以前は明治から学習していたが今度は70年前位から授業が始まるので戦後が主になってしまう。
大山委員	中身の検討が大変だと思う。
事務局 (浅見)	博学連携検討委員会も今まで年2回行い博学連携展示の時期に行っていたが、来年度は6月10月1月、展示がオープンする2月に1回と事前に何度か話し合いの場を持たせていただきたいと考えている。
大山委員	ミュージアム通信は年4回発行しているが、3回でもいいのではないか。
事務局 (浅見)	企画展示の内容を出すような形になっており、春号で収蔵品展や春の展示、夏号でテーマ展、秋冬号で企画展、新春号で博学連携展示の広報を行っている。それぞれの期間ごとにミュージアム通信の裏に体験学習のお知らせを載せるので、お手元に届いてから2ヶ月以内のイベントでないと申し込んでいただけないため年4回となっている。

鈴木会長	<p>他に何かあるか。</p> <p>(2) 令和2年度事業計画についてはこれで終了する。 最後に(3) その他について事務局より願います。</p>
事務局 (浅見)	<p>(3) その他について説明</p>
鈴木会長	<p>(3) その他について何かあるか。</p> <p>なければ以上で議事は終了する。皆様のご協力で議事がスムーズに進行したことに感謝を申し上げたい。では、議長を下ろさせていただきます。</p>
事務局 (浅見)	<p>本日は長時間にわたりご審議いただき感謝する。</p> <p>※博学連携展示見学</p>